

# MITSUBISHI 産業用パッケージエアコン (フリーコンポタイプ)

## PCTFシリーズ, PETFシリーズ システム (制御) 説明書

### 目次

安全のために必ず守ること	1 ~ 2
<b>システム概要</b>	
システム構成	3
使用例	4
システム概要	5
用語の説明	
システムの制限	
システムの決定	7
アドレスの決め方	7
応用的な使い方	9
二箇所リモコン	
タイマー運転	
ルームサーモセンサー	
<b>工事概要</b>	
室内コントローラーのスイッチ設定	10
リモコンのスイッチ設定	11
システム起動方法	12
電気配線	15
試運転	16
<b>警報システムの設置について</b>	

工事の前に必ずこの「システム説明書」をよくお読みください。  
お読みになった後は大切に保管ください。万一ご使用中に分からないことや不都合が生じたときお役に立ちます。  
なお、受注仕様品につきましては製品の細部がこの説明書と若干異なる場合があります。

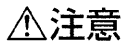
# 安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



## 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



## 注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この説明書は取扱説明書・据付工事説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

# 警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。  
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けは、質量に十分に耐える所に確実に行ってください。  
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。  
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

電気ヒーター等の別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。  
また、取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

改造は絶対にしないでください。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。  
修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。  
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。  
冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付工事は、据付工事説明書に従って確実に行ってください。  
据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

室外ユニットの端子台カバー（パネル）を確実に取付けてください。  
端子台カバー（パネル）取付け不備があると、ほこり・水などにより、火災、感電の原因になります。

据付けや移設の場合は、冷凍サイクル内に指定冷媒（R22）以外のものを混入させないでください。  
空気などを混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

小部屋へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。  
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。  
据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

## 据付けをする前に

# 注意

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。  
万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。

特殊環境には、使用しないでください。  
油・蒸気が多いところや、酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用すると、性能を著しく低下させたり、感電、故障、発煙、発火等の原因になります。また、有機溶剤、腐食ガス（アンモニア、硫黄化合物、酸 等）の雰囲気では、ガス漏れ、水漏れの原因になります。

病院、通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行なって施工してください。  
インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。  
食品の品質低下等の原因になります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けしないでください。  
湿度が80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

## 据付け（移設）・電気工事をする前に

### ⚠注意

#### アースを行ってください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電、発煙、発火およびノイズによる誤動作の原因になります。

#### 電源配線は張力がかからないように配線工事をしてください。

断線したり、発熱・火災の原因になります。

#### 正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器〈開閉器+B種ヒューズ〉・配線用遮断器）を使用してください。

大きな容量のブレーカーを使用すると故障や火災の原因になります。

#### 製品の運搬には、十分注意してください。

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないでください。  
製品によっては、PPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。  
熱交換器のフィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。  
包装用のポリ袋で子供が遊ばないように、破いてから廃棄してください。窒息事故等の原因になります。  
室外ユニット等吊りボルトによる搬入を行う場合は、確実に4点支持で実施してください。3点支持等で運搬・吊下げしますと不安定となり、落下の原因になります。

#### 長期使用で据付台等が傷んでいないか注意してください。

傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けが等の原因になります。

#### エアコンを水洗いしないでください。

感電の原因になります。

#### 電源には、必ず漏電遮断器を取付けてください。

漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

#### 電源配線は、電流容量、規格品の配線にて工事をしてください。

漏電や発熱・火災の原因になります。

#### ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。

配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になります。

#### ドレン配管の断熱は結露しないように確実に行ってください。

不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

#### 梱包材の処理は確実に行ってください。

梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのけがをするおそれがあります。

## 試運転をする前に

### ⚠注意

#### 運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。

故障の原因になります。  
シーズン中は電源を切らないでください。

#### 運転中にパネルやガードを外したまま運転をしないでください。

機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻込まれたり、やけどや感電によるけがの原因になります。

#### 運転中の冷媒配管に素手で触れないでください。

運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や火傷になるおそれがあります。

#### 濡れた手でスイッチを操作しないでください。

感電の原因になります。

#### エアフィルターを外したまま運転しないでください。

内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。

#### 運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

必ず5分以上待ってください。  
水漏れや故障の原因になります。

# 1. システム概要

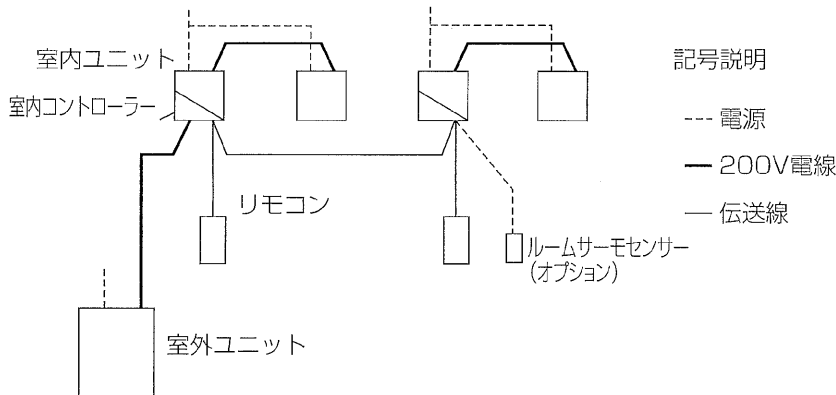
## 1-1. システム構成

この産業用パッケージエアコンは下記の製品群により構成されます

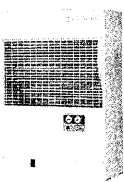
室 外 ユニット	室内ユニット		室内コントローラー	リモコン	ルームサーモセンサー (オプション)
PUTF-J125 -J190 -J250 -J375 -J500	天 吊 形	直 吹 形	C-F40A <sub>1</sub>	C-R40FA (PCT-P用)	
		PCT-J48P -J71P -J95P			
	ダ ク ト 形	PCT-J95D -J125D		C-R40NA (PCT-D, PET-D用)	PAC-SE40TS (吸込ダクト 接続時用)
	天 埋 形	PET-J190D -J250D -J375D			

機器の役割説明

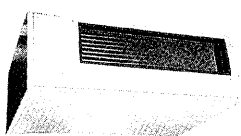
- リモコン : 運転操作, 室温設定等を行います。
- 室内コントローラー : 代表室内ユニットに組み込み, 吸込空気温度を検知し室温調節を行います。
- ルームサーモセンサー : 室内ユニットの吸込空気温度が室温と大きく異なる場合に用います。



①室外ユニット



(PCT-D形)



②室内ユニット

(PET形)

(PCT-P形)



③室内コントローラー  
(室温検知センサー付属)



④リモコン  
(部屋の温度を個別に設定します)



# 1-2. 使用例

次のような使い方ができます

室数	1室		複数室	
運転形式	一括運転		個別運転	
冷媒系統	単一	複数	単一	複数
特徴	室温分布改善	危険分散	異温度設定 (10deg以内)	冷却能力室間調整 間仕切り変更対応
レイアウト				

- 記号説明
- 間仕切り
  - 室内ユニット
  - リモコン
  - 室外ユニット
  - 冷媒配管

- 注) 1. 本図は間仕切り毎の運転例を示しています  
 2. リモコンは別途遠方にも取付可能です

# 1-3. システム概要

## 1. 用語の説明

- ・グループ…任意のリモコンで操作される室内ユニット群とそのリモコンを同一グループとします
- ・アドレス…機器（リモコン、室内コントローラー）の番地を示します  
3桁で構成され、100の位は機器の種類、10の位はグループ番号、1の位は連番で表します
- ・親機…同一冷媒系統内の室内コントローラーのうち室外ユニット異常信号の取込みを受持つ1台を親機と呼びます
- ・伝送電源給電機…室内コントローラーのうち伝送用電源の供給を受持つ1台を伝送電源給電機と呼びます

## 2. システムの制限

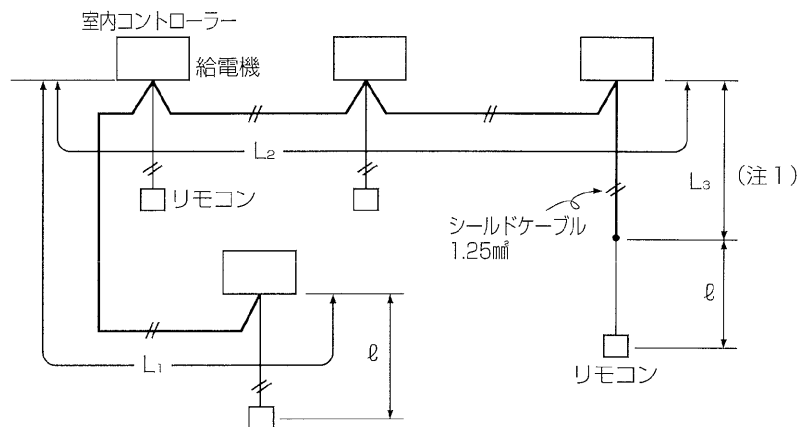
下記の範囲でご使用ください

		制限内容
グループ数	室外ユニット J125~J500形	室温15℃以下 1~2 ※
		室温15℃以上 1~3 ※
リモコン	1~2/グループ	
冷媒系統	1~4	
室内コントローラー数	1~4/冷媒系統	
室内ユニット数	1~5/室内コントローラー ※	
伝送線	リモコン	シース付ビニルコードまたはケーブル0.75mm <sup>2</sup> , 12m以下(10mは付属)
	室内コントローラー間	シールドケーブル CVVS 1.25mm <sup>2</sup> 総長 500m 以下, 給電機より250m以下
ルームサーモセンサー配線	付属2芯ケーブル, 12m以下	

※印部は室内外ユニット組合せにより異なりますので詳細は次頁をご参照願います

### 伝送線の制限

- 配線総延長 ( $L_1 + L_2 + L_3$ ) ……500m以内
- 最遠配線長 ( $L_2 + L_3$ 又は $L_1$ ) ……250m以内
- リモコン配線 ( $\ell$ ) ……12m以内



注. リモコン配線が12mを超える場合は、超える部分を1.25mm<sup>2</sup>以上のシールドケーブルに変更し、「最遠配線長」制限250mの内数に加算してください。

### 機器の接続可能範囲

表の見方 上段 A-a A:室内コントローラー最大取付可能数 a:室内コントローラー1台当たりの必要最少室内ユニット台数  
下段 B-b B:グループ最大可能数 b:グループ当たりの必要最少室内ユニット台数

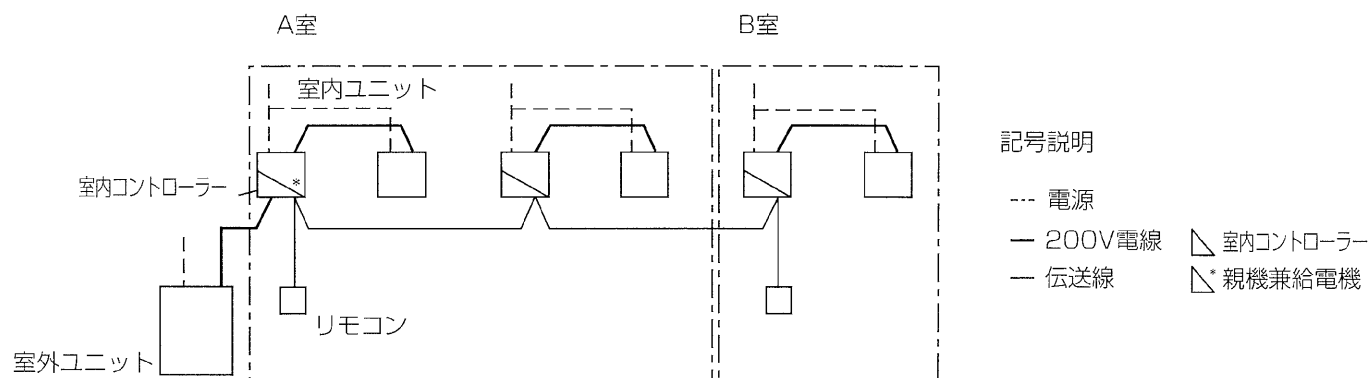
室外ユニット	室内ユニット	温度帯 台数	L (湿球温度 5~13.5℃)								M (湿球温度 10~24℃)								H (湿球温度 15~24℃)							
			1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
PUTF-J125B	PCT-J48PA	-	-	-	4-1 2-2	-	-	-	-	-	-	3-1 3-1	4-1 4-1	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	4-1 4-1	-	-	-	-	
	PCT-J71PA	-	-	3-1 1-3	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	
	PCT-J95PA・DA	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-
	PCT-J125DA	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-
	PET-J190DA(1)	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-
	PET-J250DA(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	PET-J375DA(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PUTF-J190B	PCT-J48PA	-	-	-	-	-	3-2 1-6	-	-	-	-	-	4-1 2-2	4-1 2-2	4-1 3-2	-	-	-	-	3-1 3-1	4-1 4-1	4-1 4-1	4-1 4-1	-	-	
	PCT-J71PA	-	-	-	4-1 1-4	-	-	-	-	-	3-1 3-1	4-1 4-1	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	4-1 4-1	-	-	-	-	
	PCT-J95PA・DA	-	-	3-1 1-3	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	-	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	-	-	-	-	-	
	PCT-J125DA	-	2-1 1-2	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-
	PET-J190DA(1)	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-
	PET-J250DA(1)	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-
	PET-J375DA(1)	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PUTF-J250B	PCT-J48PA	-	-	-	-	-	-	-	4-2 2-4	-	-	-	-	-	3-2 3-2	3-2 3-2	4-2 4-2	-	-	-	4-1 2-2	4-1 2-2	4-1 3-2	4-1 3-2	4-1 4-2	
	PCT-J71PA	-	-	-	2-2 1-5	-	-	-	-	-	4-1 2-2	4-1 2-2	-	-	-	-	-	-	3-1 3-1	4-1 4-1	4-1 4-1	-	-	-	-	
	PCT-J95PA・DA	-	-	4-1 2-2	-	-	-	-	-	3-1 3-1	4-1 4-1	-	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	4-1 4-1	-	-	-	-	
	PCT-J125DA	-	-	3-1 1-3	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	-	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	-	-	-	-	-	
	PET-J190DA(1)	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	2-1 2-1	-	-	-	-	-	
	PET-J250DA(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	
	PET-J375DA(1)	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	
PUTF-J375A	PCT-J48PA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4-2 2-3	-	-	-	-	3-2 3-2	3-2 3-2	4-2 4-2	
	PCT-J71PA	-	-	-	-	-	-	-	4-2 2-4	-	-	-	-	-	3-2 3-2	3-2 3-2	4-2 4-2	-	-	-	4-1 2-2	4-1 2-2	4-1 3-2	4-1 3-2	4-1 4-2	
	PCT-J95PA・DA	-	-	-	-	3-2 2-3	-	-	-	-	4-1 2-2	4-1 2-2	4-1 3-2	-	-	-	-	-	3-1 3-1	4-1 4-1	4-1 4-1	4-1 4-1	-	-		
	PCT-J125DA	-	-	1-4 1-4	2-2 1-5	-	-	-	-	-	3-1 3-1	4-1 4-1	4-1 4-1	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	4-1 4-1	-	-	-	-	
	PET-J190DA(1)	-	-	3-1 1-3	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	-	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	-	-	-	-	-	
	PET-J250DA(1)	-	2-1 1-2	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	
	PET-J375DA(1)	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	-	
PUTF-J500A	PCT-J48PA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	-	-	-	-	-	4-2 2-3	
	PCT-J71PA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4-2 2-3	-	-	-	-	3-2 3-2	3-2 3-2	4-2 4-2	
	PCT-J95PA・DA	-	-	-	-	-	-	4-2 2-4	-	-	-	-	-	3-2 3-2	3-2 3-2	4-2 4-2	-	-	-	4-1 2-2	4-1 2-2	4-1 3-2	4-1 3-2	4-1 4-2		
	PCT-J125DA	-	-	-	-	3-2 2-3	-	-	-	-	4-1 2-2	4-1 2-2	4-1 3-2	-	-	-	-	-	-	3-1 3-1	4-1 4-1	4-1 4-1	4-1 4-1	-	-	
	PET-J190DA(1)	-	-	4-1 2-2	-	-	-	-	-	-	3-1 3-1	4-1 4-1	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	4-1 4-1	-	-	-	-	
	PET-J250DA(1)	-	-	3-1 1-3	-	-	-	-	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	3-1 3-1	-	-	-	-	-	
	PET-J375DA(1)	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	2-1 2-1	-	-	-	-	-	-	-	-	1-1 1-1	2-1 2-1	-	-	-	-	-	

注1. 取付可能最大数は室内ユニットをほぼ均等に分担したときの値です  
注2. 室内ユニットの異種組合せについては別途お問合わせください

## 1-4. システムの決定

負荷計算・機種選定の後、下記の手順にてシステムを決定してください

項目	内容	備考
①室内ユニット、リモコンの配置決定	室内形状、生産設備の配置を考慮し決定ください	リモコンは目線より下方に取付けてください また、ドア・窓の近くへの取付けは避けてください 侵入外気がリモコンに結露する恐れがあります
②グルーピング	運転/停止、温度設定の操作単位に室内ユニットをグループ分けしてください	
③室内コントローラー組込室内ユニットの選定	平均的溫度となる場所の室内ユニットをコントローラー組込ユニットとして選定ください	1 冷媒系統当たり 4 個以内
④アドレス設定	リモコンと室内コントローラーのアドレスを重複しないように選定ください	単一冷媒系統の場合システムの自動立上げを行うため10の桁には必ずグループ番号を用いてください
⑤親機の選定	冷媒系統毎に室内コントローラーの各1台を親機として設定ください	できるだけ温度の高い場所の室内コントローラーを親機としてください
⑥伝送電源給電機の選定	伝送線最遠長250m以下となるよう給電機を1台選定ください	親機を給電機にしておくと親機以外の室内ユニットサービス時に残りの室内ユニットを継続運転できます



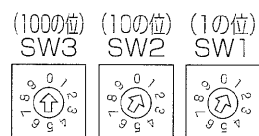
## 1-5. アドレスの決め方

アドレスは機器の番地を示します。

250以下の数値であれば自由に使えますが、単一冷媒系統の場合は次のように決めると便利です

100の位：機器の種類	リモコン…………… 0
	室内コントローラー…… 1
10の位：グループ番号……………	1～4（機種及び使用温度により制約が異なります）
1の位：連番	リモコン…………… 1～2（最大2個）
	室内コントローラー…… 0～3（最大4個）

アドレススイッチ





システム例

	室外ユニット	室内ユニット		リモコン	最大制限台数			
		コントローラー組込無	コントローラー組込有		リモコン	室外 ユニット	室内 コントローラー	室内 ユニット
一括 運 転			<p>室内コントローラー 室温検知サーモ (室内コントローラーに付属)</p>		1	1	4	5 × 4
個別 運 転					4	1	4	5 × 4
複数 冷 媒 系 統 一 括 運 転					1	4	4 × 4	5 × 4 × 4

※図中、(110)・(011)等の数字は・アドレス番号の設定例を示します

## 1-6. 応用的な使い方

### 1) 二箇所リモコン

リモコンは1グループに2台設けることができ、例えば室内と管理室など、二箇所より操作することができます  
運転は後から操作したリモコンの信号が優先され、二箇所のリモコンの表示は同一になります

### 2) タイマー運転

タイマーは下記の2つのモードを選択できます

工場出荷時は「デイリーモード」に設定しておりますが、リモコンのディップスイッチSW01の7番をOFFにすると「単発モード」に変更することができます(11頁参照)

デイリーモード…運転開始時刻・終了時刻とも毎日有効です

単発モード…運転開始時刻は当日のみ有効、終了時刻は毎日有効です

タイマー時刻の設定方法については取扱説明書をご参照ください

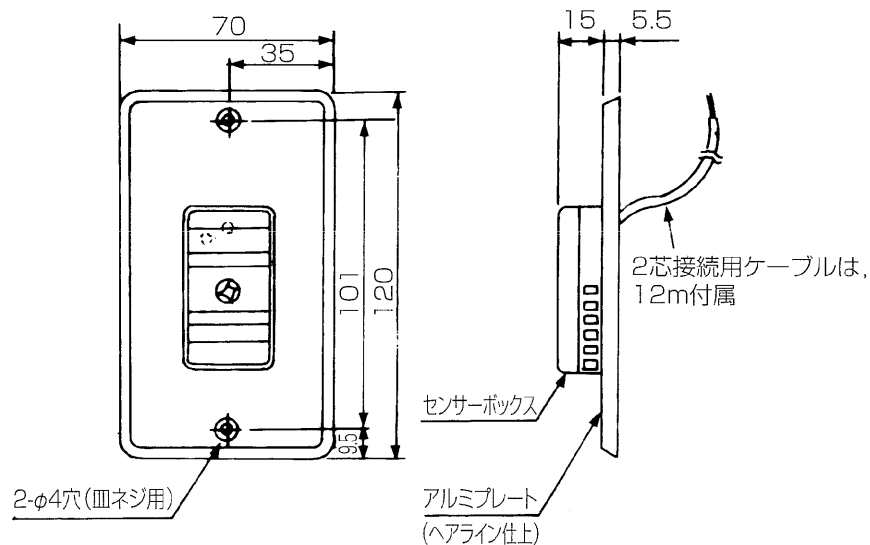
### 3) ルームサーモセンサー

外部空気を取入れる場合など吸込空気温度と室温が異なる場合には、別売リモートサーモセンサーPAC-SE40TSをご使用ください。現地手配サーモは接続できません。

センサー部を室内壁面に取付け、付属の2芯ケーブル(12m)にて室内コントローラー端子台 Ta-Ta間に接続してください。この場合標準の吸込空気温度サーミスターTa用接続配線は取外してください

[お願い]

この別売部品は他機種用別売部品を流用しているため付属説明書の記載内容の一部に本機種には適用できない部分があります。特に5項の「制御箱内の変更」については適用しないでください



注1. 本図は、センサーボックスとアルミプレートを固定した状態で表しています。

(アルミプレートを使用する場合のセンサーボックスとアルミプレートの取付は、現地組立です)

2. アルミプレートの取付は、1個用スイッチボックスJIS C8336をご使用ください。

## 2. 工事概要

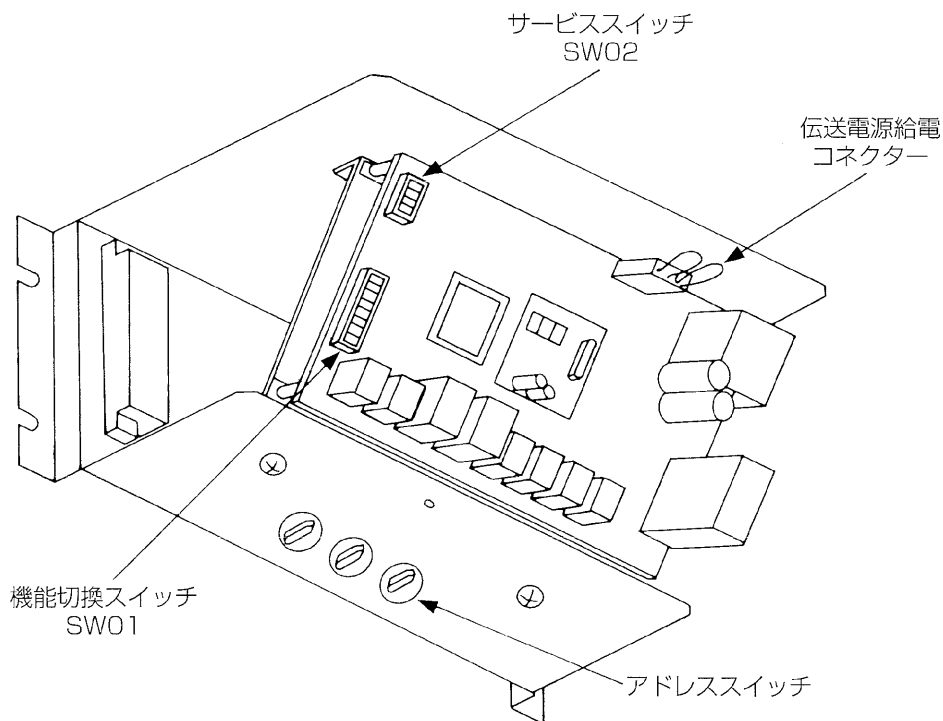
### 2-1. 室内コントローラーのスイッチ設定 ☑ 必ず電源投入前に設定してください

- ①アドレススイッチ（ロータリースイッチ SW1, SW2, SW3）  
 3桁のアドレス（10進法）を設定ください。手で操作できます  
 単一冷媒系統の場合10の位には必ずグループ番号を用いてください
- ②伝送電源給電コネクター  
 室内コントローラー間伝送線が最遠長250m以下となるように給電機を選定してください  
 「給電入切」コネクター（3極柿色配線）は給電機1台を残し取外してください  
 取外しを忘れるとシステムを起動できない場合があります
- ③機能切換スイッチ（ディップスイッチ 8極 SW01） ☑ 電源投入後の設定変更は無効です

下表を参考に設定変更ください。ディップスイッチは先の細い精密ドライバー、シャープペンシル等で操作してください

スイッチ番号	項目	識別内容		工場出荷時の設定	設定変更
		OFF	ON		
1	サーモディファレンシャル	使用禁止	±1.0℃	ON	ONでご使用ください
2	暖房有/無	無	有	OFF	電気ヒーターを組込む場合ONに切換えください
3	停電自動復帰	無	有	ON	停電自動復帰をさせないときOFFに切換えください
4	親機/子機	親機	子機	OFF	<u>子機はONに切換えください</u>
5	機種	標準	容量制御	OFF	必ずOFFでご使用ください
6	暖房手段	電気ヒーター	ヒートポンプ	OFF	必ずOFFでご使用ください
7	冷媒系統数	単一	複数	OFF	<u>複数冷媒系統のときONに切換えください</u>
8	デフロスト制御	-4℃入	0℃入	OFF	通常OFFでご使用ください

- ④サービススイッチ（ディップスイッチ 4極 SW02）  
 サービス用スイッチですのでさわらないでください。使用方法はテクニカルマニュアルをご参照ください



## 2-2. リモコンのスイッチ設定 注 必ず電源投入前に設定してください

### ①アドレススイッチ（ロータリースイッチSW1, SW2, SW3）

3桁のアドレス（10進法）を設定ください。手で操作できます  
 単一冷媒系統の場合10の位には必ずグループ番号を用いてください

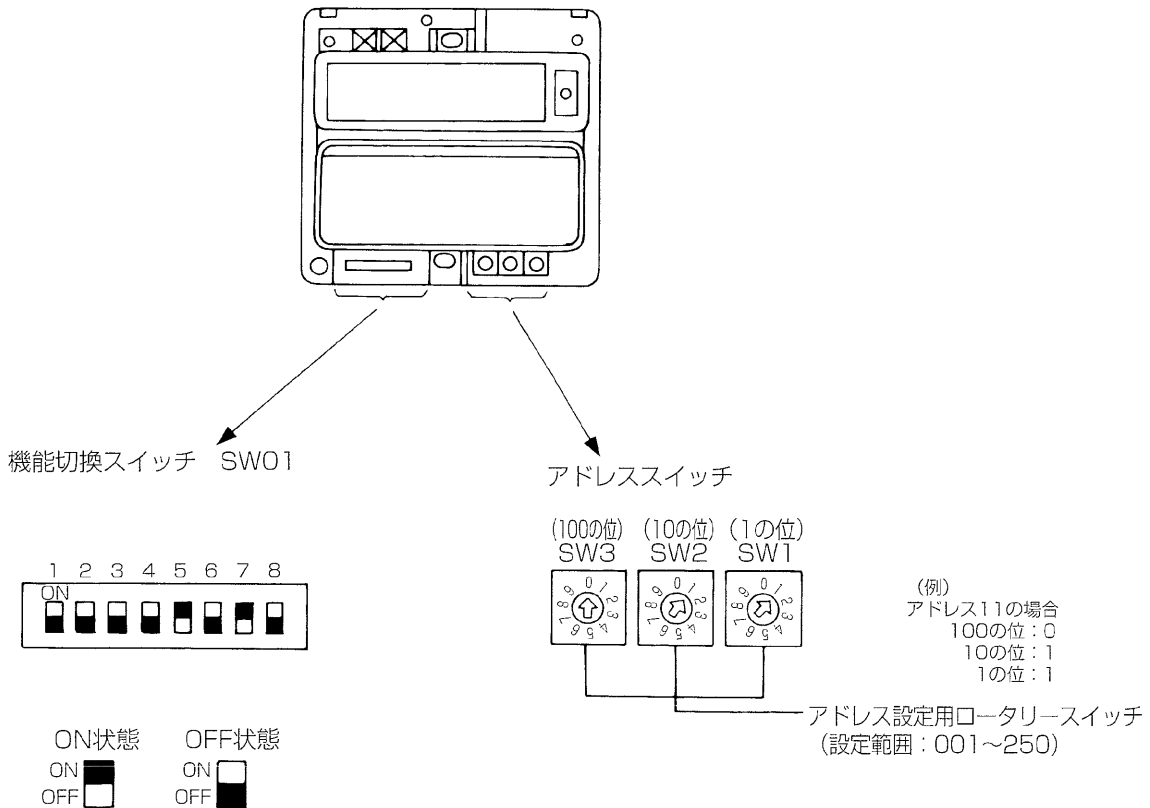
### ②機能切換スイッチ（ディップスイッチ 8極 SW01）の設定状態確認

工場出荷時の設定は下表のようになっています

1～6番は設定変更しないでください

7, 8番は必要に応じ変更してください。変更方法は関連頁をご参照ください

スイッチ番号	項目	識別内容		工場出荷時の設定		設定変更
		OFF	ON	C-R40NA	C-R40FA	
1	ルーター有無	無	有	OFF	OFF	変更しないでください
2	オートベーン有無	無	有	OFF	OFF	変更しないでください
3	スイング有無	無	有	OFF	OFF	変更しないでください
4	風速調節有無	無	有	OFF	ON	変更しないでください
5	自動モード有無	無	有	ON	ON	変更しないでください
6	ドライモード有無	無	有	OFF	OFF	変更しないでください
7	タイマーモード選択	単発	デイリー	ON	ON	9頁参照
8	初期登録	通常	初期登録	OFF	OFF	複数冷媒系統時 12～14頁参照

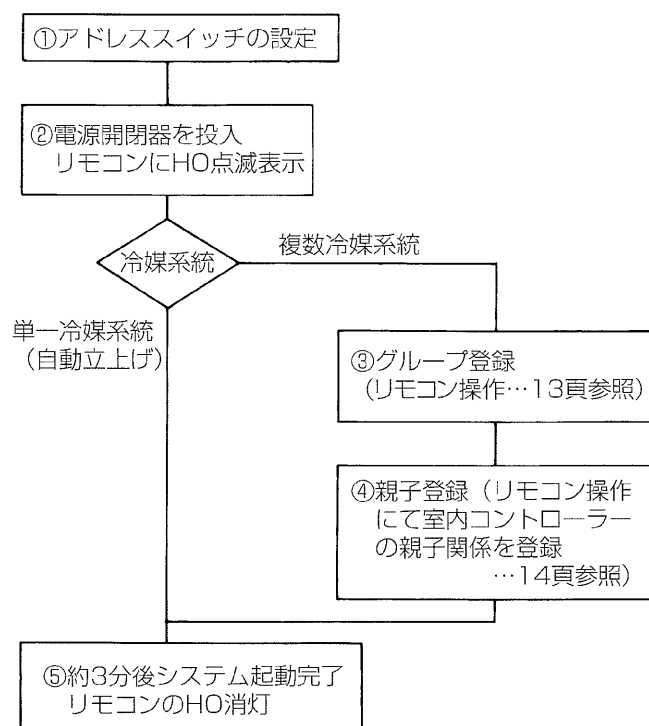


## 2-3. システム起動方法

次の手順によりシステムが起動します

単一冷媒系統では電源開閉器を投入するとアドレススイッチの10の位をグループ番号として自動立上げします

複数冷媒系統ではリモコン操作によるグループ登録、親子登録が必要です



③グループ登録（複数冷媒系統）

リモコン毎に自グループの室内コントローラーのアドレスを登録します  
下記の手順で入力してください

1	リモコンのディップスイッチSW01-8をONする（下図①）
2	アドレス設定用スイッチを操作し、登録必要室内コントローラーのアドレスを設定して登録スイッチで登録する。 下図では007が設定されています（下図①）
3	すでに登録されているかを確認する時は確認用スイッチを押して呼び出す（下図②）
4	登録を抹消する場合は、抹消用スイッチを2回連続押して抹消する（下図③）
5	リモコンのディップスイッチSW01-8をOFFする（下図①）

注① アドレスは1箇所だけが表示されます。2箇所表示されていれば登録モードが違いますのでモード切換えスイッチを押して変更してください（下図④）

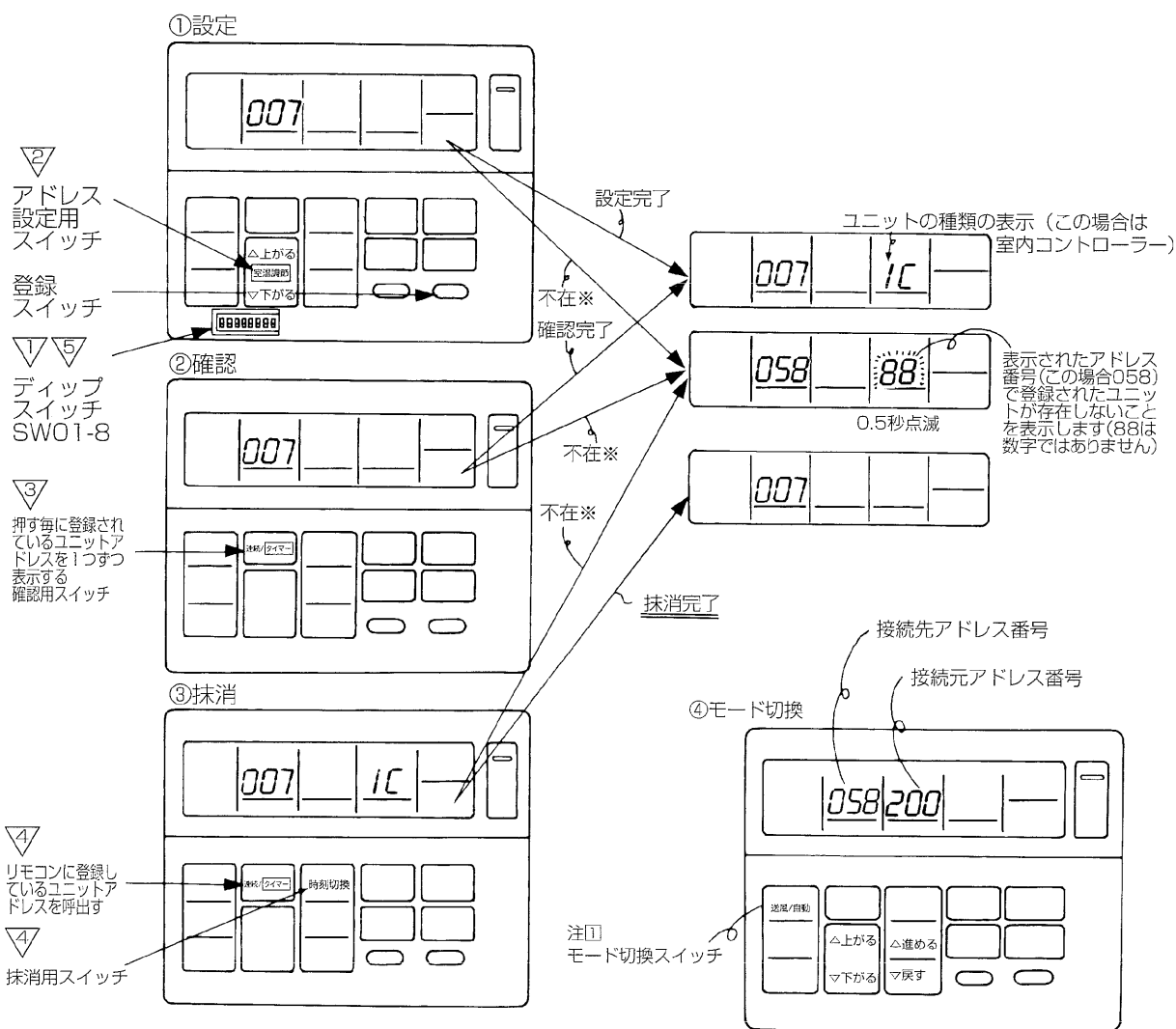
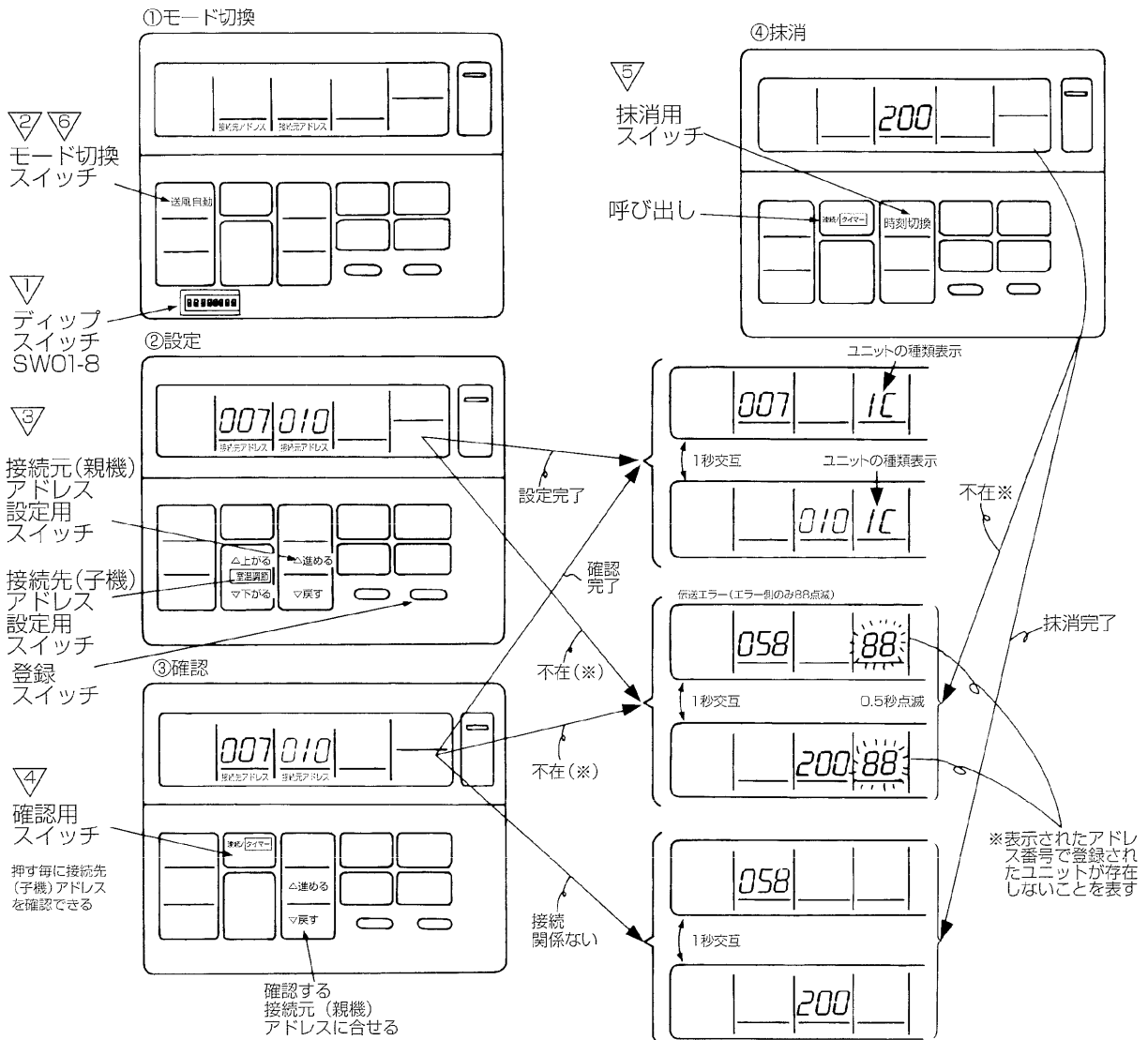


図 サービス時、応急的に取付けたリモコンを取外す時は、必ず登録抹消操作を運転停止状態で実施してから行ってください

④親子登録（複数冷媒系統）

任意の代表リモコンより室内コントローラーの親子関係を登録します  
下記の手順で入力してください

①	リモコンのディップスイッチSW01-8をONする（下図①）
②	モード切換スイッチを操作して親子登録モードにする。 親子登録モードでは接続先アドレスと接続元アドレスの2つの室内コントローラーアドレス番号が表示されます（下図①）
③	アドレス設定用スイッチを操作して“接続先アドレスNo”に子機のアドレス番号（007）を“接続元アドレスNo”に親機のアドレス番号（010）を設定して登録スイッチで登録する。 下図では007が010に接続されています（下図②）
④	すでに登録されているかを確認する時は設定内容を確認用スイッチで呼び出す（下図③）
⑤	登録を抹消する場合は、抹消用スイッチで抹消する（下図④）
⑥	リモコンのディップスイッチSW01-8をOFFにする



## 2-4. 電気配線

### (1)電源配線

電源の渡り配線はしないでください。

室内コントローラーを組込んだ室内ユニットと、それに配線接続している室内コントローラーを組込まない室内ユニットの電源は、同じ開閉器から分岐して接続してください（3頁の図参照）

電源配線についての詳細は各製品付属の説明書をご参照ください

### (2)制御配線

#### 1) 伝送線（低電圧）

①室内コントローラー基板上の伝送電源給電コネクタを給電機1台を残し取り外してください（10頁参照）

②伝送線は室内コントローラー端子台 A-Bに配線してください。極性はありません

a) リモコン配線はシース付きビニルコードまたはケーブル0.75mm<sup>2</sup>を用いてください（12m以内、10m分はリモコン付属）

b) 室内コントローラー間の配線はシールドケーブル CVVS 1.25mm<sup>2</sup>を用いてください（最遠長250m、総長500m以内）

渡り配線はシールド部も必ず接続し最終1端のみを室内コントローラーのアース端子にアースしてください

#### 2) AC200V配線

a) 室内コントローラーを組込まない室内ユニットの配線

送風機および電磁弁を代表室内ユニットと同期して動作させるため、制御箱の端子台C、D、(E.) F、Gより室内コントローラーを組込んだ代表室内ユニットの同一端子番号に渡り配線してください

b) 室外ユニットの配線

室外ユニットの異常信号（電圧出力AC200V）を同一冷媒系統内の親機となる室内コントローラーの端子台Z1、Z2に接続してください

機種により室外ユニット運転制御用配線が必要ですので詳しくは室外ユニット配線図をご参照ください



## 2-5. 試運転

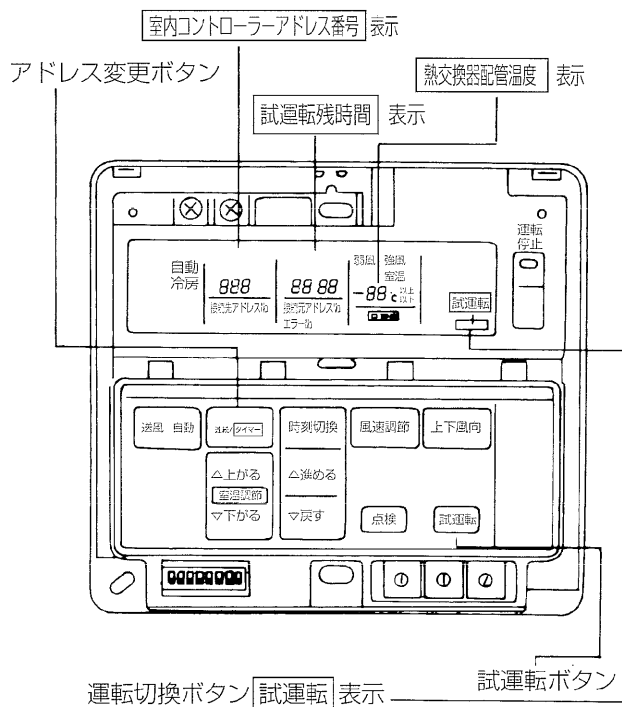
### 1) 試運転モード

- ①リモコンの試運転ボタンを2回押すとリモコンに室内コントローラーアドレスと熱交換器配管温度が表示されます
- ②リモコンに冷房表示がされていない場合には設定温度を下げ冷房表示を確認ください
- ③連続/[タイマー] ボタンを押すと、次のアドレスの熱交換器配管温度が表示されます
- ④2時間経過すると自動的に運転を停止します。また、停止ボタンを押すと試運転モードが解除され運転を停止します

### 2) 異常時の処理

リモコンに点検コードと異常発生元のアドレスが表示されます  
 要因欄の記載事項を点検し原因を取り除いてください

点検コード	異常内容	主な要因
1000	冷媒系異常	電磁弁故障/室外ユニット電源切れ
0100	外部異常	室外ユニットの保護装置作動
1604	過昇保護	電気ヒーター保護装置不良
5101	室温センサー異常	室温センサー断線または短絡/コネクター接触不良
5102	配管センサー異常	配管センサー断線または短絡/コネクター接触不良
6600	アドレス2重定義エラー	同一アドレス有り
6602	伝送プロセッサーハードウェアエラー	電源入状態で配管工事/伝送プロセッサー不良
6603	伝送BUSYエラー	ノイズ
6606	伝送プロセッサーとの通信異常	伝送プロセッサー不良/ノイズ
6607	ACK無しエラー	伝送線長さ種類不適/接続台数オーバー/電源入状態で配線工事・アドレス変更
6608	応答フレーム無しエラー	伝送線長さ種類不適/接続台数オーバー/ノイズ
6101	“不能” 応答フレーム有り	室内コントローラーとリモコンに同一アドレス有り/ノイズ
7102	接続台数オーバーエラー	室内コントローラー、リモコンの台数オーバー



---

## 警報システムの設置について

本ユニットには、安全確保のため、種々の保護装置が取付けられています。  
万一、漏電ブレーカや保護回路が作動した場合に、警報システムや温度管理システムが十分でないと、長時間にわたりユニットの運転が停止したままになり、貯蔵品の損傷につながります。  
適切な処置がすぐできるよう、警報装置の設置や、温度管理システムの確立を計画時点でご配慮くださるようお願いいたします。

---



〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-3 (三菱電機ビル)